

陸上自衛隊水陸機動団

～女性隊員初の水陸両用基本訓練課程(w)修了式～



5/11～17 ARC21 訓練風景



3/10 水陸両用基本訓練課程(w)の修了式

佐世保自衛隊後援会だより

(発行) 佐世保自衛隊後援会
 会長 金子 卓也
 佐世保市湊町6番10号
 (佐世保商工会議所内)
 TEL (0956)22-6121

佐世保自衛隊後援会



ホームページ

【女性隊員初の水陸両用基本訓練課程(w)修了式】

3月10日(水)、水陸両用基本訓練課程(w)の修了式が挙行された。今期は1月27日から3月10日の約5週間に及ぶ教育において、55名の学生が無事に修了した。そのなかで水陸機動団本部付隊の海野梓2等陸曹と水陸機動教育隊の平田美早紀2等陸曹は女性隊員として初めて本課程を修了。挑戦する女性隊員の姿を知って頂き、陸上自衛隊又は水陸機動団に興味を持って頂くきっかけとなった。

【陸上自衛隊相浦駐屯地司令感謝状贈呈式】

5月24日(月)、相浦駐屯地にて「令和3年度相浦駐屯地司令感謝状贈呈式」が挙行された。本感謝状は水陸機動団及び相浦駐屯地の支援等に尽力された方へ贈呈されるもので、当後援会から橋高副会長、山口副会長が受賞した。



5/24 相浦駐屯地司令感謝状贈呈式
 (上 橋高副会長、下 山口副会長)

【日米仏豪共同訓練(ARC21)】

海上、陸上自衛隊と米軍、仏軍、豪軍は防衛協力関係を強化すべく共同訓練「アーク21」を実施した。陸上自衛隊では仏陸軍及び米海兵隊と国内の演習場で初めて実施する実動訓練。5月11日(火)から5月17日(月)の期間、相浦駐屯地、霧島演習場及び九州西方海空域にて空中機動、陸上作戦等の水陸両用作戦に係る戦術技量及び作戦遂行能力向上を目的に実施した。担任官は陸上総隊司令官 前田忠男陸将。参加部隊は

◆水陸機動団 3・4月異動のお知らせ

【転出者(前職)順不同・敬称略】

- 第48普通科連隊(水陸機動団本部副団長) 平田雄嗣1佐、統合幕僚監部(水陸機動団後方支援大隊大隊長) 片平貴之2佐、教育訓練研究本部(戦闘上陸大隊大隊長) 増山哲治2佐、情報学校(水陸機動団本部) 齋藤文彦2佐、地理情報隊(水陸機動団本部) 赤星照久3佐、陸上総隊後方運用部(水陸機動団本部) 大園比登志3佐、情報学校(水陸機動団本部) 原田浩孝3佐、東部方面後方支援隊(水陸機動団本部) 中森正拓3佐、陸上総隊運用部(第1水陸機動連隊) 竹尾秀樹2佐、第5旅団司令部(第1水陸機動連隊) 神崎省吾3佐、第12旅団司令部(第2水陸機動連隊) 澁谷直樹2佐、富士学校(第2水陸機動連隊) 小出健二郎3佐、陸上総隊運用部(第2水陸機動連隊) 吉尾和久3佐、情報本部(水陸機動団後方支援大隊) 藤輪祥悟3佐、武器学校(水陸機動団後方支援大隊) 米倉啓太3佐、武器学校(水陸機動団後方支援大隊) 柏木豊裕3佐、陸上幕僚監部装備計画部(水陸機動団後方支援大隊) 山下和也3佐、教育訓練研究本部(水陸機動教育隊) 和田亮平2佐

【転入者(前職)順不同・敬称略】

- 水陸機動団本部副団長(関西補給処) 茅野剛也1佐、水陸機動団後方支援大隊大隊長(陸上幕僚監部) 横峯誉士2佐、戦闘上陸大隊大隊長(教育訓練研究本部) 笠井実2佐、水陸機動団本部(第301沿岸監視隊) 早崎智哉2佐、水陸機動団本部(西部方面情報隊) 中島圭3佐、水陸機動団本部(情報学校) 郷間和謝3佐、第1水陸機動連隊(中部方面総監部) 田口宏3佐、第2水陸機動連隊(北部方面総監部) 山口良2佐、第2水陸機動連隊(陸上総隊) 福良哲治3佐、第2水陸機動連隊(東部方面総監部) 三谷翔3佐、第2水陸機動連隊(第19普通科連隊) 古賀守3佐、第2水陸機動連隊(第7普通科連隊) 岡山尚弘3佐、水陸機動団後方支援大隊(武器学校) 桑原徳之3佐、水陸機動団後方支援大隊(武器学校) 米原和文3佐、水陸機動教育隊(防衛装備庁) 後藤剛史2佐

(資料提供：水陸機動団)

次の通り。陸自からは約1000人、仏陸軍は約60人、米海兵隊は約60人が参加した。

- 陸上自衛隊 水陸機動団、西部方面航空隊
- 仏陸軍 第6軽機甲旅団
- 米海兵隊 第3海兵師団、第3海兵兵站群、第1海兵航空団

新型イージス艦「はぐる」佐世保初度入港

～国内保有イージス艦8隻のうち4隻が佐世保に配備～



4/8 佐世保教育隊入隊式



4/2 練習艦隊司令官 石巻海将補表敬訪問(金子会長他)



5/11～17 ARC21 訓練風景



4/5 イージス艦「はぐる」佐世保初度入港

〔令和3年度練習艦隊佐世保入港〕

4月2日(金)9時30分、海上自衛隊の将来を担う実習幹部が乗艦した練習艦隊(指揮官・練習艦隊司令官石巻義康海将補)が倉島岸壁に入港した。入港したのは練習艦「かしま」(艦長 小城尚徳1佐)、掃海母艦「うらが」(艦長 杉山重2佐)、訓練支援艦「んりゅう」(艦長 小沼清教2佐)の3隻。

〔イージス艦「はぐる」佐世保入港〕

4月5日(月)最新鋭イージス艦「はぐる」が佐世保に入港した。佐世保に配備されたイージス艦はこれで4隻目となり、国内保有のイージス艦全8隻の半数を占めることになった。対外アジア地域への防衛の要として、より一層佐世保の防衛の拠点としての役割が強まっている。

〔海上自衛隊佐世保教育隊入隊式〕

4月8日(木)、海上自衛隊佐世保教育隊で第16期一般海曹候補生課程および第23期自衛官候補生課程95人の入隊式が挙行された。
長崎県出身者は第16期一般海曹候補生課程306人中109人、第23期自衛官候補生課程95人中16人となっている。

〔派遣海賊対処行動水上部隊帰国行事〕

4月13日(火)、第37次派遣海賊対処行動水上部隊の護衛艦「ありあけ」(艦長 江澤高2佐)が約7カ月におよぶ任務を終え佐世保に帰港、帰国行事が行われた。

〔派遣情報収集活動水上部隊 出国行事〕

4月18日(日)、第5次派遣情報収集活動水上部隊の第5護衛艦(指揮官第5護衛隊司令長村久光1佐)護衛艦「あきづき」(艦長 中澤憲弥2佐)が中東方面における情報収集活動に従事するため出国行事が行われた。

〔日米共同訓練(ARC21)〕

海上自衛隊では、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて米軍、仏軍、豪軍と防衛協

力関係を強化すべく、共同訓練を実施した。島嶼防衛にかかる海上自衛隊の戦術技量の向上および米豪仏海軍との連携強化が目的。訓練期間は5月11日(火)から5月17日(月)(17日は予備日)。訓練海域は東シナ海。参加部隊は次の通り。

- 海上自衛隊護衛艦「いせ」、「あしがら」、「あさひ」、「こひなつ」、輸送艦「おおすみ」、ミサイル艇「おおたか」、「しらたか」、哨戒機、潜水艦
- 米軍ドック型輸送揚陸艦「ニューオリンズ」、P-8A、MV-22
- 豪軍フリゲート艦「パラマッタ」
- 仏軍 強襲揚陸艦「トネル」、フリゲート艦「シユルクーフ」

◆海上自衛隊佐世保地方総監部3・4月異動のお知らせ

【転出者(前職)】順不同・敬称略
航空補給処計画部長(佐世保地方総監部経理部長)米山博1佐、佐世保地方総監部防衛部3室長兼5室長(いせ艦長)飯ヶ谷孝広1佐、幹部学校付(きりさめ艦長)白石豪1佐、海上幕僚監部防衛課長付(第13護衛隊司令)菅原誠1佐、水上戦術開発指導隊教育部長(はまな艦長)池田正人2佐、掃海隊群司令部機雷戦幕僚B(たかしま艇長)黒住悠人3佐、水陸両用戦機雷戦術支援隊(やくしま艇長)武田隆吉志3佐

【転入者(前職)】順不同・敬称略

佐世保地方総監部経理部長(海上幕僚監部装備需品課補給管理室長)許斐栄1佐、いせ艦長(第1術科学校教育第2部長)宮崎好司1佐、はぐる艦長(はぐる ぎ装員長)倉光啓介1佐、きりさめ艦長(海上幕僚監部指揮通信課)野田典典2佐、第13護衛隊司令(開発隊群司令部首席幕僚)塩崎浩之1佐、はまな艦長(護衛艦隊司令部訓練総括幕僚)衣山丈夫2佐、たかしま艇長(うくしま艇長)田中良和3佐、やくしま艇長(てるつき航海長)古賀猛明1尉

(資料引用・海上幕僚監部、海上自衛隊佐世保地方総監部)